

企画展のおしらせ

《企画展『宇都宮氏の歴史』》

「城井軍記実録」「宇都宮氏系図」「城井谷絵図」などの歴史資料。館跡の発掘出土品、山城のパネル写真などを常設展示しています。



『城井谷絵図』(部分)

現地情報

会期 2014年3月4日(火)～12月下旬予定
場所 船泊窯跡公園体験学習館
築上町船泊1342-22
☎0930-52-3771
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 毎週月曜日 **観覧料** 無料



編集後記

レポーター/ノウサギ

歴史・文化・史跡・自然に恵まれた京築地域。
NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」を機に歴史の再認識が進んでいます。
地元ボランティアガイドさん達の出番も多くなりそう。
たくさんの人と出会い、繋がる…っていいですね。
更なる歴史を紡ぐ場所に、今、居合わせる幸に感謝!!

まちよくれ! 見ちよくれ! 楽しんよくれ! けいちくで待ちよーね!



『京築応援団』
団員募集中!!

京築を応援するファンクラブに
入りませんか?
お申し込みは京築地域情報発信サイト
「京築まるごとナビ」から
<http://www.keichiku.info/> →



～豊前宇都宮氏の本拠地～
城井谷

鎌倉時代、鎮西御家人として豊前国に入った宇都宮氏は、当初みやこ町木井馬場を本拠地としましたが、南北朝時代以降、築上町の城井谷に本拠地を移しました。これ以降、城井谷の要所に数多くの山城を築いて、谷全体を要塞化して戦乱の時代に備えました。

宇都宮氏館跡…巨大な館跡

築上町松丸、城井谷の平野中央の台地上に、150m×120mもの巨大な館跡があります。発掘調査で空堀跡や土塁、25棟の建物跡などが発見されました。江戸時代、黒田藩の貝原益軒が書いた『豊国紀行』『城井谷絵図』ではここを「城井屋敷跡」「城井鎮房隠居の宅」と記述されています。



城井谷遠景(手前中央、樹木に囲まれた館跡)

堂山城址…城井谷の要を守る

城井谷の本庄と伝法寺の境、谷が最も狭まった要の地、堂山の山頂に築かれています。ここは「一ノ戸」「遠見番所」と呼ばれ、狼煙台を置いたとも伝えられています。発掘調査では、1間×1間の櫓跡と思われる柱穴が発見されました。堀切や土橋、曲輪や馬出しなど、構造や施設がとても分かりやすい山城です。麓の正光寺から約10分登るとたどり着きます。



大平城(右手前)と求菩提山

詰城の大平城～そして隠れ城、城井ノ上城

戦国時代末期には城井谷の最奥地、寒田の溝口に屋敷を構え、その背後の大平城を詰城としました。県道から10分で山頂にたどりつくと、馬場と呼ばれる細長い腰曲輪などがあります。城井ノ上城はさらに山奥にあり、『豊国紀行』には「敵をのがれてたてこもる所なり」と書かれ、自然の岩の城門をくぐると岩壁に囲まれた谷が広がります。

築上町教育委員会 文化財保護係 高尾 栄市

おおむらだいげつどう
太村太月堂

行橋市大橋 3-11-20 (中町商店街)
TEL・FAX 0930-22-0149
営業 8:00～18:00 定休日 なし
駐車場 2台あり

some good points of this place

創業明治23年カステラを作る店として誕生しました。昔ながらのレシピで添加物を使わず地域に密着したお菓子作りをめざしています。新作の「馬ヶ岳城 黒ぼろ」は、ポルトガル人がカステラを伝えた小倉までのシュガーロードが、伸びる間に佐賀で誕生した丸ぼろを、馬ヶ岳にみたて黒糖を入れて黒田官兵衛を表現しました。行橋駅の「行橋市観光物産情報コーナー(0930-25-0086)」でも販売しています。

レポーター/
チエリー

話題の食おみせ
紹介



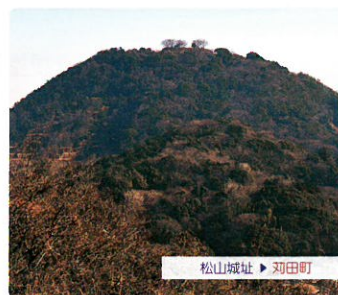
今すぐお店へアクセス!!

Vol. 015 2014. 春

京築応援団便り
豊のくにけいちく

発行：京築連帯アムニティ都市圏推進会議 事務局 (福岡県広域地域振興課内)
企画編集：京築応援団会報編集委員会、豊の国海幸山幸ネット
問い合わせ：福岡県広域地域振興課 / 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL:092-643-3178 / FAX:092-643-3164 / E-mail: koiki@pref.fukuoka.lg.jp

penda ▶ Yukuhashi ▶ Miyako ▶ Chikujo ▶ Buzen ▶ Timotomi ▶ Kougou



松山城址 ▶ 刈田町



馬ヶ岳城址 ▶ 行橋市



八景山 ▶ みやこ町



城井ノ上城址 ▶ 築上町



求菩提山 ▶ 豊前市



天仲寺山 ▶ 吉富町



松尾山 ▶ 上毛町

京築応援団便り
豊のくに
けいちく
春号

Vol. 015
発行 2014/4/1

2014 Spring Toyonokuni Keichiku



来てみちよくれ
春のけいちく
歩いてみよう 京築めぐり

みやこ町
ふるさとを愛する老年パワー!
ふるさと老年隊

～地域の文化と歴史を後世に!～



「地域の文化と歴史を後世に!」を合言葉に、定年を迎えた60～70代の16名で6年前に結成されました。みやこ町勝山地区を活動の拠点に、子どもたちに地域特産の「たけのこ」を掘る体験会を開いたり、大晦日には近くのお寺に竹灯籠を備え、除夜の鐘を楽しく演出したりしています。また、山の整備を兼ねて、間伐材などを利用した炭焼きなども行い、すでに37回を数えています。

ふるさと老年隊
代表 熊田 正幸
連絡先 0930-32-3084
レポーター/とらバアバ

「豊かさの源!ひと!」シリーズ

上毛町 地域づくり協議会
「いぶきの里」 会長

やました あきら
山下 朗さん

15
人目



「地域の元気がまちを動かす」をモットーに活躍されているのが、2011年3月に設立された上毛町地域づくり協議会の会長山下朗さんです。

山下さんは上毛町に生まれ、75年大分工業大(現日本文理大)工学部を卒業後、大分県の製作所に入社。一方、ボランティア活動に積極的に取り組み、91年「大平レクリエーションクラブ」を立ち上げ、宇佐から行橋まで広域にわたって、子供たちにレクリエーションのサポートをしていたそうです。

01年にNPO法人「ピアハウスつばさ」を設立、障害者や高齢者の就労就学支援を行っています。こうしたなか、05年10月に誕生した上毛町では、新しいまちづくりの指

針が策定されました。地域が抱える問題や身近にある資源を活かした活性化など、誰もがまちづくりの主役として活動し、住んで良かったと思える上毛町を目指して各団体が集まり、「上毛町地域づくり協議会」が設立されました。そして活動の拠点施設である「いぶきの里」が誕生しました。現在では30団体・600名近くが組織に加入し、まちづくりに参画しています。今までの経験と手腕を買われて、協議会の初代会長に山下さんが就任し現在に至っています。「まちに人あり、楽しいこと笑いの場に人は集まる。今後は、人づくりをすすめて、未来を担う若者を積極的に支援し、住んで良かったと思える町を住民の力で作っていききたい」と思いはふくらみます。

レポーター/カジカガエル



いぶきの里▶

知っちゃう?京築

「ガイド(達人)と巡る 花咲く里山」

いよいよ東九州自動車道も、行橋インターまで開通!苅田の山並みを抜けると、車窓から美しい京都平野の風景がとびこんできます。古代から豊の国の美夜古(みやこ)とよばれ、修験道文化が花開き、戦国時代には軍師官兵衛と宇都宮氏の攻防が繰り広げられ、神楽の里でもある京築。ふるさとを愛するガイド(達人)たちと、「京築めぐり」しませんか?

レポーター/トヨヒメ

京築を愛し、京築を誘う人たちが集う「けいちくサルタヒコ養成塾」では、東九州自動車道の行橋インター開通にあわせ、京築地域を広域で巡ることができる「京築めぐりマップ」を制作しました。

- ①古代～古墳めぐり
- ②中世～宇都宮鎮房vs黒田官兵衛
- ③近世～中津街道めぐり
- ④京築の修験道めぐりの4枚です。

このマップをみながら、京築めぐりを楽しんでください。

京築
めぐり
マップ



※ツアー内容等詳細は、各問合せ先にお尋ねください。

苅田町

「しっちょうかん苅田」苅田町ガイドがご案内

黒田官兵衛ゆかりの松山城址に登る歴史めぐり

天正14年(1586)9月、黒田官兵衛は豊臣秀吉の九州征伐の軍監を務め、小倉城から松山城に陣を移し指揮を執りました。周防難(豊前海)を一望できるこの地から官兵衛の思いを追体験してみませんか?

◎苅田町観光協会(地域振興課) TEL.093-434-1809

行橋市

黒田官兵衛と後藤又兵衛ゆかりの地めぐり

行橋市歴史資料館の特別展示「秀吉・黒田官兵衛見参-馬ヶ岳城の世界-」では、黒田24騎の兜や官兵衛・秀吉のレプリカ兜が29頭と長政の本物の兜が1鉢、後藤又兵衛ゆかりの品々等が展示されています。官兵衛コースは馬ヶ岳(官兵衛が九州初の居城とした山城)と又兵衛コースは今井の西福寺・守田家などがあります。二人の武将の足跡がリアルに伝わるゆかりの地めぐりはいかがですか?

◎ゆくはし屋根のない博物館 市民学芸員ガイド(要予約) TEL.0930-25-3133
(行橋市歴史資料館)

みやこ町

桜の名所八景山と豊前国府の里めぐり

八景山の山頂に鎮座する護国神社から京都平野を見渡せば、まるで城持ち大名の気分。中腹には甲冑古墳やプロレタリア文学者 葉山嘉樹などの文学碑があり、会津藩士郡長正や秋月藩士の墓碑が歴史を物語ります。足を延ばせば、豊前国府や豊前国分寺跡公園、花菖蒲の散策も楽しい歴史が薫る豊前国府の里めぐりはいかがですか?

◎豊津郷土史会 TEL.0930-33-4556

築上町

宇都宮街道沿いの史跡めぐり

宇都宮街道(県道237号線)起点JR築城駅近くには黒田官兵衛が入部当初、仮の宿にした法然寺があります。宿敵、宇都宮鎮房は街道沿いの自然の要害を山城としました。これらにまつわる城井谷の史跡です。奥に城井ノ上(さいのこ)城址、隠れ城があります。

◎築上町商工課観光係 TEL.0930-52-0001

豊前市

修験の山、求菩提と官兵衛の山桜ツアー

九州最古の花見といえ、黒田官兵衛が求菩提山で行った桜狩といわれています。豊前国平定のためにやむを得ず滅ぼした宇都宮氏の居城があった城井谷を見下ろす地には、官兵衛の懺悔の思いが伝わる山桜が咲いています。また、麓の求菩提資料館には、桜狩の際に宇都宮氏を誂った直筆の句が展示されており、官兵衛の心情を読み取ることができます。国の重要文化的景観に選定されている修験の山「求菩提の農村景観」もあわせてめぐってみませんか?

◎豊前市史跡ガイドボランティアの会 TEL.0979-88-3203(福岡県求菩提資料館)

吉富町

中津城主ゆかりの場所めぐり

中津城は、「黒田孝高」によって建られ(1587-13年間)、細川藩(32年間)、小笠原藩(84年間)、奥平藩(154年間)と変遷。中津城下を一望できる天仲寺山(広津城址・小笠原公墓等)、城下への入口小犬丸渡跡、宇都宮氏ゆかりの宇賀神社、傀儡子の神相撲で有名な八幡古表神社など歩いてみませんか?

◎吉富歴史文化の会 TEL.0979-22-1944

上毛町

修験の山、松尾山めぐり

上毛町には、英彦山六峰の一つ、松尾山匠王寺があります。室町時代には天下泰平と五穀豊穡を予祝する松会行事が盛大となり、八面山や檜原山の山伏たちと峰入を行うようになりました。戦国時代には大友・大内両氏の争いに巻き込まれ、山内の堂宇を焼失しましたが、小倉藩主小笠原忠真から庇護を受け、再建を果たします。その後明治政府により修験道は禁止令が出され、三社神社として残りました。修験道や松会の資料は、「ゆいきらら」に展示しています。あわせてご覧になってみませんか?

◎上毛町文化財係 TEL.0979-72-2111(上毛町大平支所)

写真は表紙に
のってるよ!

応援団イチオシの
おすすめイベントを
ご紹介します。

2014年・春
花の里心を美しく
花が躍ります!



苅田町



等覚寺の松会と
ウォーキング

■日程:4月20日(日)
■時間:正午頃～
■場所:苅田町白山多賀神社
千年続く修験道の祭礼です。柱松の上で幣串を切り落とす大ページント。白川の里から歩いて参拝する「山伏古道ウォーク」も同時開催。
◎苅田町観光協会(地域振興課) TEL.093-434-1809

みやこ町



黒田にわとり楽

■日程:4月19日(土)・20日(日)
■時間:16:00～18:00(予定)
■場所:黒田神社、御旅所(みやこ町勝山黒田) 国道201号黒田信号から山手方向へ。
鶏を真似た子供たちが太鼓をたたき、4名の杖使いが6尺の杖を激しく打合います。にわとり楽の由来を語る「言い立て」と大うちわを持った楽師が舞いを盛り立てます。
◎黒田にわとり楽保存会 事務局 TEL.0930-32-3098(小田) 写真提供:品川宗平氏

豊前市



宝福寺山つつじ祭り

■日程:4月23日(水)～5月6日(火)
■時間:10:00～21:00
■場所:豊前市前川・宝福寺山つつじ公園
約3000本のつつじが公園内を彩ります。4/29～5/1は八屋祖園も同時開催され、お祭りムード一色に、夜にはぼんぼりも点灯され昼間とは違った雰囲気味わえます。天狗太鼓・カラオケなどイベントも用意しています。
◎豊前市まちづくり課 観光振興係 TEL.0979-82-1111

吉富町



第3回
よしとみ70Kmウォーク

■日程:5月24日(土)～25日(日)
■時間:24日21:00スタート～25日15:00まで
■場所:吉富フォーユー会館(スタート、ゴール)
吉富から大分県の中津市・宇佐市をめぐり、豊前市・築上郡を経て吉富町に戻ってくるコースです。
◎吉富町体育協会事務局 TEL.0979-22-1978

行橋市



菜の花祭り

■日程:4月6日(日)
■時間:10:00～14:00
■場所:行橋市下崎
行橋インターからおりて5分の菜の花畑イベント会場。子どもたち向けの風船飛ばし、もちつき大会、菜の花ローリングキ100本限定販売、菜の花コロケの販売、参加者にはカレーライスのふるまいあり。
◎下崎・長尾・鳥井原農産組合 TEL.090-8572-3630

築上町



やすたけがく
安武楽

■日程:5月3日(土)
■時間:10:00～
■場所:築上町安武
安武楽は寛永2年(1662)築造された大西池の水路安全、飢饉疫病防止を祈願して満田(みつた)神社の春の神幸祭に奉納されます。築上町三楽の一つです。
◎築上町教育委員会生涯学習課(船泊築跡公園) TEL.0930-52-3771

上毛町



修験道の祭
松尾山の御田植祭

■日程:4月20日(日)
■時間:12:00～
■場所:上毛町西友松尾山三社神社下宮跡広場
子どもたちの色紙の踊りや刀舞の踊りとふたつの獅子舞も観られ五穀豊穡と天下泰平を祈願します。また無料のおにぎりと毎年ふるまわれています。「ゆいきらら」からシャトルバスを運行します。
◎上毛町大平支所総合窓口課 TEL.0979-72-2111

京築神楽情報



京築神楽定期公演

■日程:4月13日(日)
■時間:11:00～16:00(開場10:30)
■場所:苅田町中央公民館 大ホール
東日本大震災のチャリティ公演として、初の会場となる苅田町で開催します。子ども神楽や「大蛇退治」、「御先」など、神楽の大作が楽しめます。当日は神楽御膳弁当(限定150個)や特産品も販売します。
◎苅田町地域振興課 TEL.093-434-1809